

# 衆議院文部科学委員会ニュース

【第204回国会】令和3年3月10日（水）、第3回の委員会が開かれました。

## 1 文部科学行政の基本施策に関する件

- ・萩生田文部科学大臣、丸川国務大臣（東京オリンピック競技大会・東京パラリンピック競技大会担当）、三原厚生労働副大臣、鰐淵文部科学大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行いました。（質疑者）牧義夫君（立民）、中川正春君（立民）、谷田川元君（立民）、寺田学君（立民）、畑野君枝君（共産）、藤田文武君（維新）、尾身朝子君（自民）、根本幸典君（自民）、古屋範子君（公明）

（質疑者及び主な質疑事項）

### 牧義夫君（立民）

#### （1）東京オリンピック・パラリンピック競技大会について

- ア 国民が大会開催に半信半疑である理由についての丸川国務大臣の認識
- イ 海外向けチケットの販売実績及び海外からの観客を受入れない場合の払戻しの有無
- ウ 昨年行われた国内向けチケットの払戻し状況及び観客数を制限する場合の購入済みチケットの取扱い
- エ 大会に出場する選手及び関係者の総数
- オ 訪日する選手及び関係者の滞在期間中の新型コロナウイルス感染症対策
- カ 日本人選手の選考状況
- キ 各国の選手の選考状況を把握する方法
- ク 各国際競技連盟等が選手の派遣を拒否する可能性
- ケ 「人類が新型コロナウイルスに打ち勝ったあかし」に代わる大会の意義付けについての丸川国務大臣の見解
- コ 大会期間中の医療スタッフの確保状況
- サ 来年開催予定の北京冬季オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた萩生田文部科学大臣及び丸川国務大臣の思い

#### （2）全日本私立幼稚園連合会の使途不明金問題について

- ア 文部科学省の現時点における認識
- イ 同連合会が文部科学省の所管ではないことの確認
- ウ 辞任した前会長に対して辞任直後に文部科学大臣の教育者表彰が行われたことの是非
- エ 任意団体である同連合会の税制上の取扱い
- オ 同連合会から文部科学省職員に対する接待等の有無
- カ 同連合会を法人化する必要性

### 中川正春君（立民）

#### （1）全日本私立幼稚園連合会の使途不明金問題についての萩生田文部科学大臣の認識及び対応

#### （2）デジタル教科書の今後の在り方について

- ア 無償化、附帯機能、教科書検定との関係、外部アプリの導入にかかるコスト負担等についての検討状況及び学校現場におけるICT教育の本格実施前に決定する必要性
- イ 教育コンテンツに係る経済産業省及び文部科学省の取組の連携及び調整の方法

#### （3）英語の4技能評価を含む大学入試改革に係る議論の現状

#### （4）教育機会の多様化について

- ア 台湾のデジタル担当大臣オードリー・タン氏が持つ多様性に対する萩生田文部科学大臣の評価
- イ 多様な教育機会の制度化を文部科学省において検討する必要性

谷田川元君（立民）

- (1) 全日本私立幼稚園連合会の使途不明金問題について
- ア 萩生田文部科学大臣は香川前会長と面識があるか否か
  - イ 萩生田文部科学大臣の香川前会長との会食及び政治献金の受領やパーティー券購入の有無
  - ウ 副大臣及び政務官についても政治献金等を調査し当委員会に報告する意思の有無
  - エ 過去5年間における文部科学省職員の国家公務員倫理規程に基づく利害関係者との会食に係る届出件数及び会食の有無を改めて調査する必要性
  - オ 財団法人全日本私立幼稚園幼児教育振興機構の所管省庁及び同機構における不透明な入出金の認識の有無
- (2) デジタル教科書について
- ア 各教科等の授業時数の二分の一未満とする学習者用デジタル教科書使用基準を令和3年度から撤廃することの確認
  - イ デジタル教科書にかかる通信費用を低所得世帯に支援する必要性
  - ウ 科学的見地を持った専門家による、デジタル化の功罪を検証した上で本格導入する必要性
  - エ 地方公共団体の財政力によりデジタル教育の内容が左右されないように義務教育で達成すべき水準について国が責任を持つ必要性
- (3) 外来語について
- ア 大臣所信で用いられた「リカレント教育」や「スポーツインテグリティー」の認知度
  - イ 国語を所管する文部科学省が率先して日本語を用いたわかりやすい表現を行っていく必要性
- (4) 教員について
- ア 35人学級の導入により、加配教員の配置換えが行われ、過疎地域においては逆に教員減になる懸念
  - イ 令和4年度からの小学校高学年の教科担任制の導入による教員一人当たりの持ちこま数軽減の確認
  - ウ 教員免許更新制について
    - a 再任用も含めて65歳まで勤めた教員も、失効する旧免許状を返納しないと過料が科されることの確認
    - b 教員免許更新制の見直しについて萩生田文部科学大臣の在任中に一定の結論を出す必要性
  - エ 教員の待遇改善について
    - a 令和4年度に実施が予定される教員の勤務実態調査を令和3年度に繰り上げることの必要性
    - b 教員の待遇改善のための給与引上げに対する萩生田文部科学大臣の思い
- (5) 受験料の返還等について
- ア 英語検定協会（英検）について
    - a 新型コロナウイルス感染症の感染拡大により試験が実施できなかった場合に受験料を返還しないとする英語検定協会の規約の適法性
    - b 文部科学省として英語検定協会に規約見直しを働きかける意思の有無
  - イ 卒業見込みとして受験を申込み、卒業できないと判明した場合、体験受験も受験料返還も認められない薬剤師国家試験について
    - a 体験受験か受験料の返還のいずれかを認める必要性
    - b 厚生労働省において薬剤師国家試験の在り方を検討し、来年度から変更されるものと理解してよいか否か

## 寺田学君（立民）

- (1) 文化芸術活動に対する支援策について
  - ア 萩生田文部科学大臣の文化芸術に関する趣味
  - イ コロナ禍における舞台芸術の裏方で働く文化芸術関係者への支援
    - a 現状の把握の有無
    - b 個人やフリーランスで働く裏方への支援策の有無
    - c 個人やフリーランスで働く裏方に直接支援する措置を講ずる必要性
  - ウ 今後海外との人の往来が再開する際に文化芸術関係者についても 14 日間の隔離措置免除の対象に含める必要性
- (2) 選択的夫婦別姓について
  - ア 選択的夫婦別姓に関する答弁において丸川国務大臣が「私がこの大臣の任をお預かりしました経緯を考えますと」と繰り返す趣旨
  - イ 選択的夫婦別姓の実現を求める地方議会の意見書が採択されないよう、地方議会の議長や議員に対し送付された文書への丸川国務大臣の署名を撤回する必要性
- (3) GIGAスクール構想の運用実態について
  - ア 端末を自宅へ持ち帰ることが原則であることの確認
  - イ 現場の教員が持つ情報についての文部科学省の把握方法
  - ウ StuDX Style（学校現場における参考事例の発信・共有をする文部科学省の特設サイト）に他省庁での取組のリンクを張るなど連携を密にする必要性

## 畑野君枝君（共産）

- (1) 全日本私立幼稚園連合会の使途不明金問題の実態解明についての萩生田文部科学大臣の考え
- (2) 新型コロナウイルス感染症対策のための学校の一斉臨時休業による児童生徒への影響に対する萩生田文部科学大臣の見解及び文部科学省の対応
- (3) 少人数学級の実現を中学校にも進める必要性
- (4) 小学校休業等対応助成金・支援金制度について
  - ア 個人からの申請を可能とする必要性
  - イ この制度を学校を通じて保護者に周知する必要性
- (5) 生理の貧困について
  - ア 学校における児童生徒等への生理用品の無償提供及び養護教諭に相談できる環境整備の必要性
  - イ 文部科学省において、各省庁と連携して取組を進める必要性
- (6) 養護教諭について
  - ア 私立学校における本務の養護教諭の配置率が国公立学校に比べて低い理由
  - イ 全ての学校に養護教諭を必置とする必要性
- (7) 東京オリンピック・パラリンピック競技大会について
  - ア 大会開催に必要な医療スタッフの確保状況
  - イ 大会指定病院の決定状況及び確保の見通し
  - ウ 大会の中止を含めて開催の是非を検討する必要性
  - エ 大会を通じてジェンダー平等の取組を進めることについての丸山国務大臣の決意

## 藤田文武君（維新）

- (1) 東京オリンピック・パラリンピック競技大会について
  - ア 丸川国務大臣が所信で述べた大会後の社会にも残すジェンダーバランスのレガシーの具体例

- イ 観客数制限や大会中止のシミュレーションの存在
- (2) わいせつ行為を行った教員・保育士について
  - ア 同教員に対し治療やカウンセリングを行う必要性
  - イ 同保育士の復職の現状
- (3) 博士課程の学生への支援について
  - ア 支援制度の概要
  - イ 広く支援する基準と高いレベルを段階をつけて支援する基準の選考基準の異なる支援制度の必要性
  - ウ 博士課程への進学率が低下している理由及び官民における博士課程修了者の採用ニーズ
  - エ 博士課程修了者の採用を促進する制度の必要性
- (4) 文化芸術に関する研究について
  - ア 政府の総合的な認識
  - イ 我が国の文化芸術政策のために通史的な研究を支援する必要性

#### 尾身朝子君（自民）

##### 科学技術・イノベーション政策について

- ア 文部科学省における科学技術の国際展開についての取組方針
- イ 外務省における科学技術外交の取組方針
- ウ 女性研究者の登用と活躍促進に向けた環境整備に対する文部科学大臣の取組方針
- エ 情報科学技術を核とした研究のDX（デジタルトランスフォーメーション）についての取組内容
- オ スーパーコンピューター「富岳」の活用方針
- カ 今国会に提出された国立大学法人法改正案における研究成果の社会への還元方策
- キ 大学発ベンチャーの創出に向けた取組方針
- ク 科学技術・イノベーション創出の活性化に関する法律の改正に伴い見直された中小企業技術革新制度（日本版S B I R制度）における支援策

#### 根本幸典君（自民）

- (1) 少人数学級について
  - ア 導入に向けた萩生田文部科学大臣の決意
  - イ 質の高い教員の確保策
- (2) 公立小中学校施設について
  - ア 老朽化対策に対する現状認識と支援策
  - イ 既存施設についてバリアフリー化を加速する必要性
  - ウ 新しい時代の学びに対応した環境整備の必要性
- (3) 大学入学共通テストについて
  - ア 本テストの実施後の評価及び来年度以降の対応方針
  - イ 実施主体である大学入試センターの経営基盤を強化するため、大学における費用負担の在り方を検討する必要性

#### 古屋範子君（公明）

- (1) 新型コロナウイルス感染症の感染拡大で深刻化する子供の心身や学びへの影響についての萩生田文部科学大臣の認識
- (2) 不登校の現状及びICTを活用した教育機会の確保の現状

- (3) フリースクールに通う児童生徒への支援を強化する必要性
- (4) 生活保護及び高校生の奨学給付金を受給している世帯に対し、資格取得のための検定試験料を対象経費として扱う必要性
- (5) 検定試験及び模擬試験の実施状況や費用負担の実態調査を行う必要性

2 公立義務教育諸学校の学級編制及び教職員定数の標準に関する法律の一部を改正する法律案（内閣提出第16号）

- ・萩生田文部科学大臣から趣旨の説明を聴取しました。
- ・参考人から意見を聴取することに協議決定しました。